



超・実践型 公開研究会 2013

東北のこどもたちを笑顔に！

～ミュージアムのパワーが集まって光を届けるための新しいしくみづくり～

全国のミュージアムが力を合わせて東日本大震災被災地の子どもたちを元気づける「こども☆ひかりプロジェクト」。私たちはこの活動を10年間続ける計画です。ミュージアムは、子どもたちに夢と希望を提供します。子どもたちの笑顔は、地域社会を確実に明るくします。若者たちは、大きく発展させるエネルギーを持っています。私たちは、2012年の実践で、このことを実感し、発展させる必要性を強く感じました。今回の公開研究会では、昨年の実践の成果を振り返りながらプロジェクトの意義やあり方について考えます。さらに、ミュージアムや子どもの現場、若者たちの取り組みなどから被災地の「今」を知ることにより、プロジェクトの新たな展開や実践のための仕組みづくりについて、みんなでとことん話し合います。

つぎのような方々のご参画を、お待ちしております。

意欲のある、若者・企業 CSR ご担当者・ミュージアムボランティア・ミュージアム関係者

※ 内容等は予告なく変更されることがあります。ホームページで直前の情報をお確かめ下さい。



2013年3月13日(水)

九州国立博物館(福岡・太宰府)

主催：こども☆ひかりプロジェクト
後援：九州国立博物館

2013年3月15日(金)

日本科学未来館(東京・お台場)

主催：こども☆ひかりプロジェクト

1F
研修室

研究会

総司会 上野知彦(九州国立博物館)

研究会

総司会 岡野麻衣子(日本科学未来館)

7F
会議室1

14:00	趣旨説明	清水文美(こども☆ひかりプロジェクト代表)	大人も元気に！	清水文美(こども☆ひかりプロジェクト代表)	14:00
	基調報告	高田浩二(海の中道海洋生態科学館 館長)	館種を超えて海外発信も	水嶋英治(常磐大学 教授)	
	事例報告	中澤堅一郎(仙台市科学館) 村田真知子(九州国立博物館) 阿部詩音(福島大学 学部生)	波及効果東北の今の館では若者は今	遠藤幸栄(福島市子どもの夢を育む施設こむこむ館) 久保暢宏(日本科学未来館 科学コミュニケーター) 佐藤利昭・嘉山央基(東北大学 学部生)	
	課題整理	八木 剛(兵庫県立人と自然の博物館)	さてこれからどうしよう？	八木 剛(兵庫県立人と自然の博物館)	
15:30	アドバイス	田中 馨(集英社小学館アカデミー) 浅野 雄・物江斗木夫(福岡福岡県人会) 三輪嘉六(九州国立博物館 館長)	企業もいっしょに日本を笑顔に	武 幸太郎((株)内田洋行 常務) 笠木俊一(ケニス株式会社 専務取締役) 北澤宏一(独立行政法人科学技術振興機構 顧問)	15:30
17:00	総合討論	会場のみなさん	ああでもないこうでもない	会場のみなさん	17:00

1F
レストラン

イブニングフォーラム

進行 蒲池昌江(福岡アジア美術館)

17:30	話題提供	山下治子(アム・プロモーション) 鬼本佳代子(福岡市美術館)	こんなアイデアいかがですか？	伊従史子((有)アイツー・アソシエイツ) 藤田大悟((株)リバナス)	17:30
	意見交換	会場のみなさん	ああしようこうしよう	会場のみなさん	
19:30					19:30

これは展開の予想です。必ずしもそうなるとは限りません。

みなさんからのアイデア・ヒントは、即、アクションプランに取り入れていきます。

参加費 研究会：無料/イブニングフォーラム：5,000円(学生：3,000円) 食事込み
申込 こども☆ひかりプロジェクトホームページの申込フォーム、または、お名前、ご所属、イブニングフォーラム参加の有無を明記の上、電子メールでお申込み下さい。

http://kodomo hikari.jimdo.com E-mail: kodomo.hikari@gmail.com

※切 定員(各50名)に達し次第切

問合せ 090-9119-2005(こども☆ひかりプロジェクト：清水) または上記電子メールで

